

企業紹介

箱づくりは夢づくり

SANKI 三喜商事株式会社

代表取締役 稲垣 勝
〒940-2024 長岡市堺町722
TEL 0258-27-0492 FAX 0258-29-0413
<http://www.sanki-syoji.com/>

業 種：段ボールケース製造販売
資 本 金：1,000万円
事業内容：段ボールケース製造販売、POP組立・箱詰めなどアッセンブリ作業、一般紙器・美粧ケース販売

主に段ボールケース製造販売とPOP組立・箱詰めなどのアッセンブリ作業を行う三喜商事株式会社。手作業に頼らざるを得ないアッセンブリ作業では、品質管理のための独自のノウハウに強みを持つ。さらに最近では、障害者雇用にも積極的に取り組んでいる。

タバコ用段ボールから出発

同社は、昭和44年創業。当初は主に長岡市にあった旧・日本専売公社長岡工場にタバコ用段ボールを納入していた。その後、同工場の閉鎖により、一時は大きな営業上の柱を失ったが、新規販売先の開拓やアッセンブリ作業への進出などにより業績を伸ばしてきた。



▲段ボールのほか一般紙器も取り扱う

品質管理に独自のノウハウ

同社の主力となる段ボールケース製造では、最新鋭マシンにより高い生産性と精度を追求。高品質と低価格を実現している。「お客さまからの要望が宝物」との理念のもと、様々な要望に臨機応変に対応できるノウハウを蓄積してきた。

事業のもう一つの核となるのが、アッセンブリ作業。POP組立、箱詰め、袋詰めなどを荷受けから出荷まで一括して受託している。アッセンブリ作業では、徹底した品質管理が同社の強み。どうしても人手に頼らざるを得ない作業について、同社は誤りを生じさせない作業手順、効率的な作業手順などに独自のノウハウを持つ。さらに、単に顧客のニーズに応えるだけでなく、一歩踏み込んで何が提供できるかを考え、顧客に提案できるところも同社の強みとなっている。

また、遠隔地の顧客とはWEBカメラで結び、作業内容を確認してもらうなど、新しい技術も積極的に取り入れ、顧客が安心して作業を依頼できる体制を作っている。



▲食品業界用のユニフォーム着用により異物混入を徹底的に防止。「常在戦場」の文字が光る

障害者雇用の取り組み

同社は、障害者雇用にも積極的に取り組んでいる。きっかけは、3年ほど前に障害者を実習生として受け入れたこと。稲垣社長は、その実習生が、いきいきと働いている様子を見て、いつか本格的に取り組みたいと思いを温めてきた。その思いが今年4月、同社の敷地内に授産施設「スマイルセンター三喜」として実を結ぶことになる。現在、10人以上の障害者の人たちが発足に向け訓練を積んでおり、稲垣社長も自ら指導に当たっている。

「障害者の人たちに働く場を提供することで、障害者自身の収入の向上や成長を目指すと共に、一緒に働く社員も思いやりや協力の大切さを学び成長できる。加えて、民間企業として、効率性や利益も追求していきたい。」と稲垣社長は語る。



▲同社が組み立てた宣伝用POPの数々